

CADPACCREATOR 2D Ver.25.0

新機能・追加機能 概要

■汎用機能

1. 対応 OS	2
2. ニュートラルモード	2
3. 図形抽出	3
4. 右パネル、システム設定・検出	3
5. 作業中図面一覧	4
6. 連続出力 IMGPrinter	4
7. DXF・DWG 入出力 設定書出 / 読込	4
8. DXF・DWG 入出力 文字情報処理設定	5
9. DXF・DWG 入出力 平行寸法	5
10. DXF・DWG 入力 平行寸法	5
11. DXF・DWG 入力 螺旋	5
12. 平行線	6
13. スプライン	6
14. 螺旋	6
15. 対数螺旋	6
16. 文字、注釈、バルーン	7
17. バルーン	7
18. 複写、移動	8
19. レイヤー操作	8
20. グループ操作	8
21. 隠線再計算	9
22. 要素長	9
23. ブランク解除	9
24. 寸法検査表作成	9

■機械オプション

25. データム、幾何公差	10
26. バルーンと部品欄連動 部品欄編集	10
27. バルーンと部品欄連動 項目入力	11

■2D3D インターフェース

28. 3D へ図面を送る	12
29. 図面転送 (3D → 2D)	12
30. 図面配置設定 (3D)	13
31. 表示設定 (3D)	13

■SOLIDWORKS インターフェース

32. 対応バージョン	14
33. 図面配置 他	14
34. 図面更新	14

■その他のオプション

35. JIS 機械パーツ	14
---------------------	----

Ver.25.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.25.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.24.0 からの差分です)

汎用機能

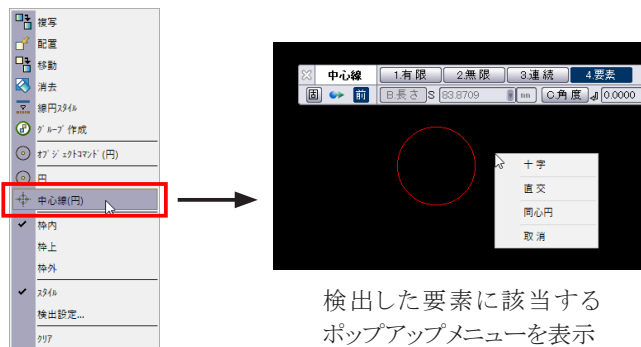
1. 対応 OS

Windows11 に正式対応しました。
※ CADPAC-CREATOR 2D Ver.24.0 サービスパック 1 より対応しています。
[基本操作 1/ 対応 OS]

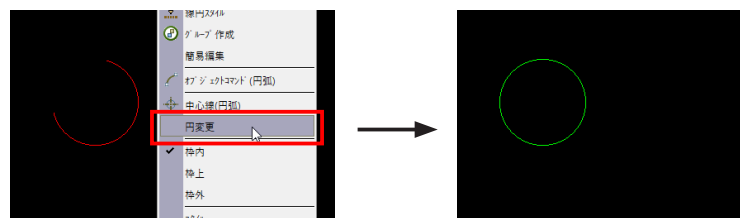
2. ニュートラルモード

要素指定から呼び出せる編集系起動コマンドについて、下記の拡張を行いました。

- ・ 円、円弧、丸め要素の指定から中心線コマンドを呼び出せるようになりました。



- ・ 円弧要素の指定から円変更を実行できるようになりました。



[基本操作 2/ ニュートラルモードのコマンド起動]

3. 図形抽出

中指定条件設定ダイアログを [取消] で閉じると、CSB[中指定] のオン / オフが切り替わるコマンドが一部ありました。これを見直し、状態が保持されるように変更しました。

対象のコマンド([中指定])のオン / オフ切り替えのあるコマンドが対象です。)

作図：上書線、オフセット、ハッチング、パターンハッチング

構成：隠線作成

補助：重量

機械オプション：断面 2 次、慣性モーメント、絞り加工

[基本操作 3/ 図形抽出]



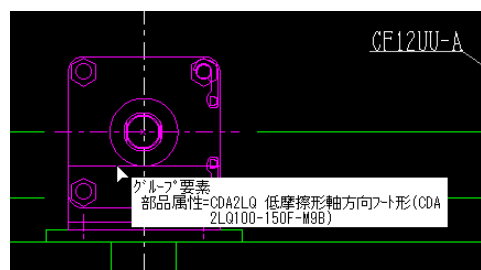
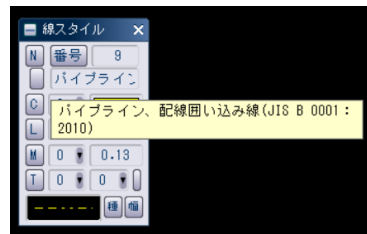
4. 右パネル

システム設定・検出

ガイドチップ (ツールチップ) が長文になる場合、改行して表示されるようになりました。

[基本操作 4/ 右パネルの基本操作]

[補助 / システム設定 / 検出]

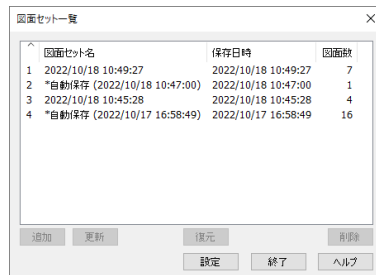
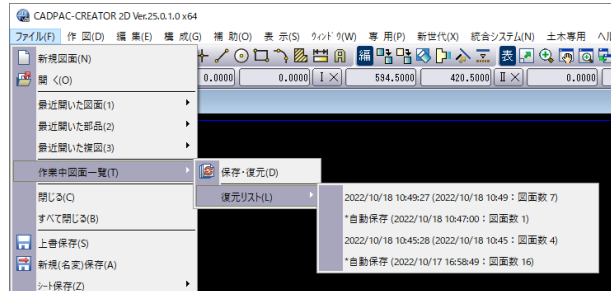


5. 作業中図面一覧
保存・復元

CADPAC 上で開いている全ての図面をまとめて記録し、再起動後も状態を復元することができる新機能です。

[ファイル / 作業中図面一覧 / 保存・復元]

[ファイル / 作業中図面一覧 / 復元リスト]



6. 連続出力
IMGPrinter

IMGPrinter による連続出力時、CADPAC の非アクティブ状態が維持されるようになりました。

※本機能を有効にするには、CADPAC-CREATOR 2D Ver.25.0 以降のバージョンに付属の IMGPrinter2 をインストールする必要があります。

[ファイル / 連続出力]

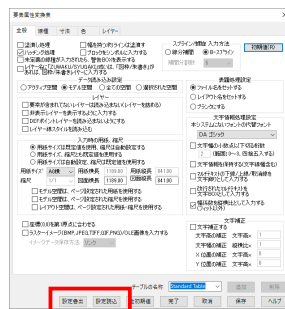
[ファイル / IMGPrinter - PDF・TIFF・XCDF 出力]

7. DXF・DWG 入出力
設定書出 / 読込

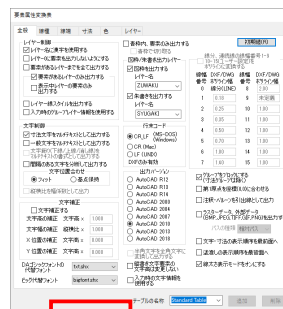
変換条件設定の設定内容をファイルとして書き出し / 読み込み (エクスポート / インポート) できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



DXF・DWG 入力



DXF・DWG 出力

8. DXF・DWG 入出力
文字情報処理設定

文字列要素（テキストオブジェクト、及びマルチテキストオブジェクト）の入出力時、文字の縦横比（幅係数）を維持できるようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



DXF・DWG 入力



DXF・DWG 出力

9. DXF・DWG 入出力
平行寸法

平行寸法の両外寸形状に対応しました。
それに伴い、DXF・DWG 出力の変換条件設定、寸法タブ内「両外寸」の設定初期値をオンに変更しました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



10. DXF・DWG 入力
平行寸法

入力時、平行寸法の外寸形状が AutoCAD と異なるスタイルで変換されていましたが、変換精度を向上し、外寸内矢として変換されるようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

11. DXF・DWG 入力
螺旋

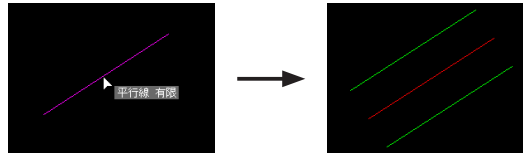
らせんオブジェクトを線分または B-スプライン要素へ変換対応しました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



12. 平行線

CSBに[7. 両端]を追加しました。対象にした基準線の両側に一括で平行線を作図できます。

[作図 / 直線 / 平行線]



13. スプライン

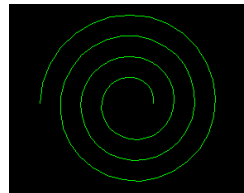
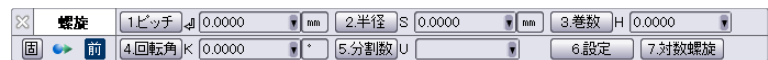
CSB[6. 変更]で制御点の位置を変更した後、制御点を再選択できるようになり、繰り返し変更可能になりました。

[作図 / 曲線 / スプライン]

14. 螺旋

螺旋（アルキメデスの螺旋）を作図できる新コマンドです。

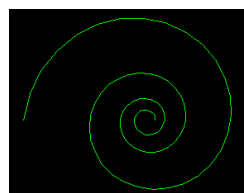
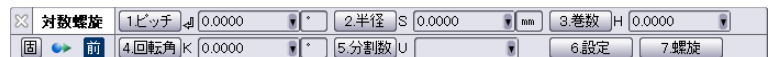
[作図 / 曲線 / 螺旋]



15. 対数螺旋

対数螺旋を作図できる新コマンドです。

[作図 / 曲線 / 対数螺旋]

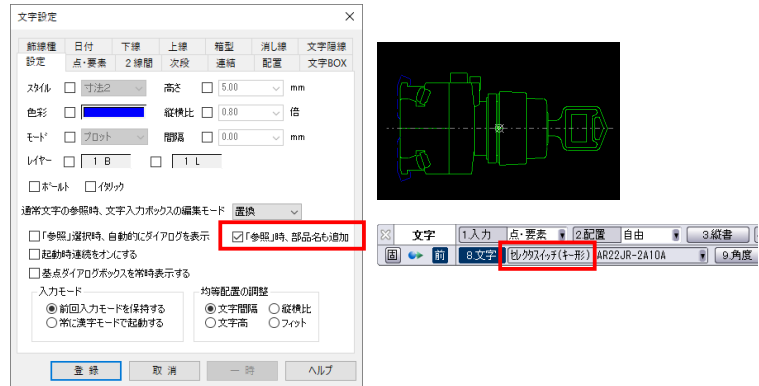


16. 文字、注釈、
バルーン

設定「参照」時、部品名も追加」がオンの状態で JIS 機械パーツ部品を参照したとき、型番に加えて品名情報が付加されるようになりました。

[作図 / 文字記入 / 文字] [作図 / 文字記入 / 注釈]

[作図 / 文字記入 / バルーン]

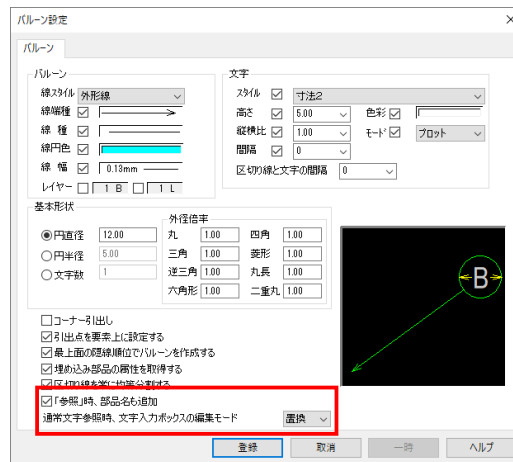


17. バルーン

CSB[8. 参照]で機械部品を対象にしたとき、部品名を取得できるようになりました。

また、文字入力ボックスの編集モードを「置換」「編集」から選択できるようになりました。

[作図 / 文字記入 / バルーン]

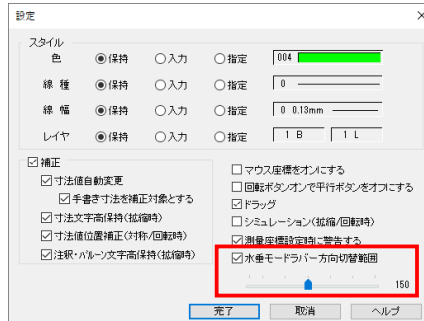


18. 複写、移動

CSB[水垂]モード時、マウスカーソルの位置による水平 / 垂直自動切換えを、指定の数値範囲内で固定できるようになりました。

[編集 / 複写 / 複写]

[編集 / 移動 / 移動]



19. レイヤー操作

表示コントロールのマーカーの形状を丸型に変更しました。

また、マーカー左クリックによる表示切替の順序を、紫色（表示オン検出オン）→青色（表示オフ検出オフ）→水色（表示オン検出オフ）に変更し、レイヤー右パネルでの表示切り替え順に統一しました。

[編集 / レイヤー操作 / レイヤー操作 (アイコンツールバー)]



20. グループ操作

「部分解除」に関する動作を一部見直しました。

- ・「部分解除」の対象の選択中、「グループ階層ダイアログ」が非表示になるようにしました。
 - ・「部分解除」からグループを削除した後の挙動を、「全体を解除」実行時の動作に合わせました。
 - ・枠選択 CSB で「枠内・枠上・枠外」を自由に選択できるようにしました。
- [構成 / グループ / グループ操作]

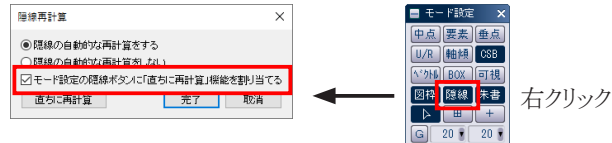
21. 隠線再計算

右パネルのモード設定「隠線」ボタン切り替えによる隠線表示を行ったとき、自動で「直ちに再計算」が実行できるようになりました。

また、隠線再計算ダイアログを「隠線」ボタンをマウス右クリックで呼び出せるようにしました。

[基本操作 4/ モード設定]

[構成 / 隠線パーツ / 隠線再計算]

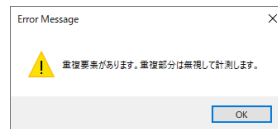


22. 要素長

CSB に [2. 重複チェック] を追加しました。

計測対象要素に重なりがあった場合、重複分を除いて計測します。

[補助 / 計測 / 要素長]



23. ブランク解除

専用の CSB を新規に追加しました。これにより、図面上全てのブランク要素を一括指定 / 解除できるようになり、更に枠選択の条件を詳細に指定できるようになりました。

[表示 / 要素ブランク解除]

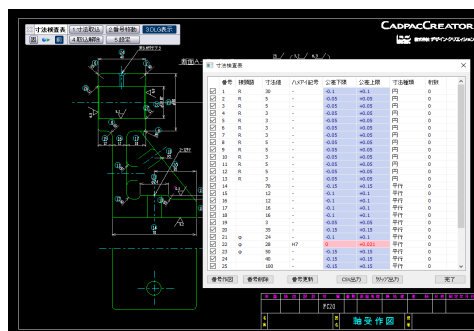


24. 寸法検査表作成

図面から寸法を取り込み、検査表を自動作成する新コマンドです。

作成した寸法検査表は、CSV ファイルまたはクリップボードに出力可能です。

[ヘルプ / お試し / 寸法検査表作成]



※本機能はお試し版になります。その為今後のバージョンでは本機能の互換性がなくなる可能性があります。(本機能以外のデータに関しては影響ありません。)

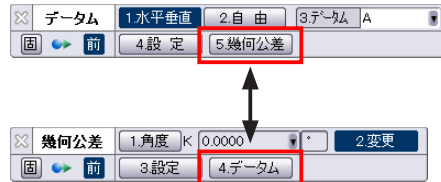
機械オプション

25. データム 幾何公差

それぞれの CSB に相互切り替えボタンを追加しました。

[専用 / 機械記号 / データム]

[専用 / 機械記号 / 幾何公差]

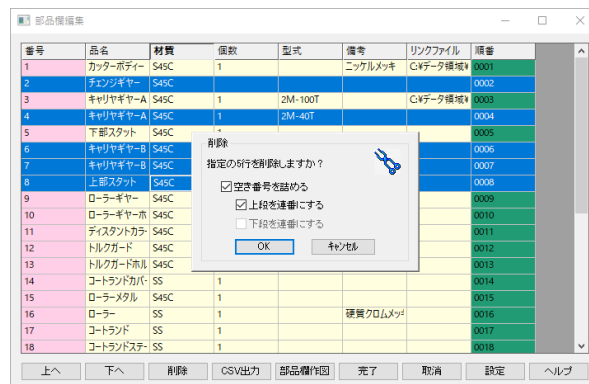


26. バルーンと部品欄連動 部品欄編集

部品欄編集ダイアログボックスの機能を改善しました。

- ・ ソート順序のルールを、Windows エクスプローラ準拠のソートルールに変更しました。
- ・ ダイアログボックスのサイズ、リストの列幅が保持されるようになりました。
- ・ 複数行の選択操作で、Ctrl キーを用いての非連続行の選択に対応しました。また Ctrl+Shift キーによる連続する複数行の追加選択も可能になりました。
- ・ 複数行選択時に「削除」を実行したとき、選択されていた全ての行が削除されるようになりました。

[作図 / 文字記入 / バルーンと部品欄連動]



27. バルーンと部品欄連動 項目入力

画面上から要素を指定することで、その属性を文字列として取り込むことができるようになりました。参照できる要素は「文字」「機械、JIS 機械パーツ要素」「グループ」です。

また「機械、JIS 機械パーツ要素」では、属性取得時にその部品名も追加取得することができます。

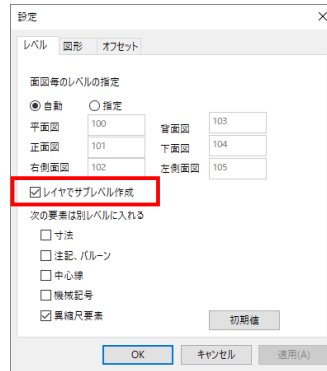
[作図 / 文字記入 / バルーンと部品欄連動]

2D3D インターフェース

28. 3D へ図面を送る

レイヤでサブレベルを作成できるようになりました。

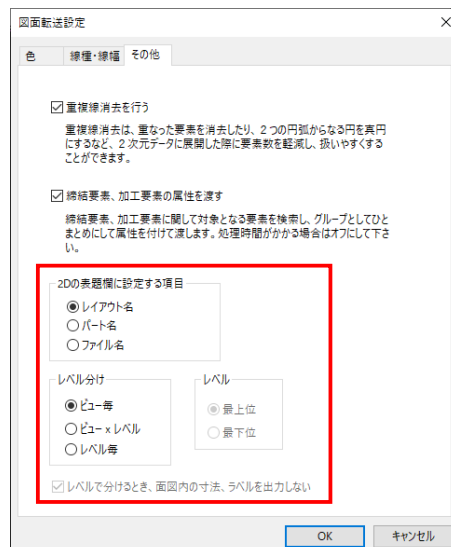
詳細は 2D オンラインヘルプの [オプション /2D3D InterFace] を参照ください。

29. 図面転送
(3D → 2D)

図面転送設定の「その他」タブで、下記の拡張を行いました。

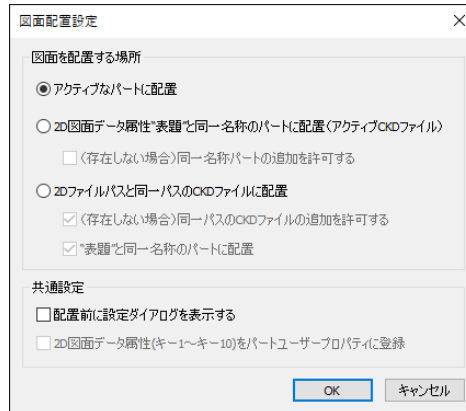
- ・ 図面転送設定「重複線消去を行う」「締結要素、加工要素の属性を渡す」が共にオンするとき、2D の機械要素の変換できなかった締結・加工要素が重複処理されずに 2 つの半円になる現象を改善しました。
- ・ 2D 図面属性の表題に「パート名」や「ファイル名」がつけられるようになりました。従来は「レイアウト名」固定でした。
- ・ 「3D へ図面を送る」の設定で「レイヤでサブレベル作成」がオンの時、3D に配置時のレベル(レイヤー)の分け方を設定できるようになりました。従来は「ビュー毎」でした。

詳細は 2D オンラインヘルプの [オプション /2D3D InterFace] を参照ください。



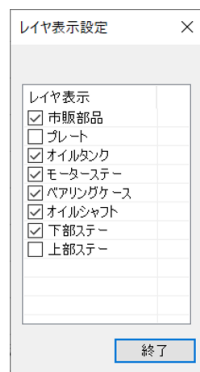
30. 図面配置設定 (3D)

図面配置時の設定ができるようになりました。
従来はアクティブなパートへの配置のみでしたが、2D 図面属性の表題やファイル名でパートを指定、または新規で作成して配置ができます。
また、2D 図面属性を 3D のパートユーザープロパティに登録ができるようになりました。
詳細は 2D オンラインヘルプの [オプション /2D3D InterFace] を参照ください。



31. 表示設定 (3D)

「3D へ図面を送る」の設定で「レイヤでサブレベル作成」がオンで 3D に図面配置した時、サブレベルの表示を指定した要素やレイヤ毎に簡単に切り替えができる新コマンドです。
詳細は 2D オンラインヘルプの [オプション /2D3D InterFace] を参照ください。



SOLIDWORKS インターフェース

32. 対応バージョン

SOLIDWORKS2023 に対応しました。

[専用 /SW インターフェース /SW インターフェースオプションの概要]

33. 図面配置 他

- ・ データ変換方法を変更し、微小誤差の発生を解消しました。
- ・ SOLIDWORKS モデルのソリッドの色を反映できるようになりました。

[専用 /SW インターフェース / 図面配置]

[専用 /SW インターフェース / 投影図追加]

[専用 /SW インターフェース / 断面図配置]

[専用 /SW インターフェース / 図面更新]



図面配置、投影図追加、断面図配置

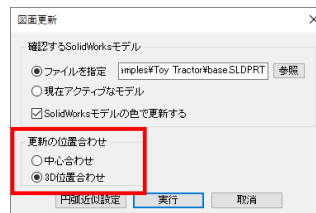


図面更新

34. 図面更新

図面更新時の位置合わせ方法として、現状の中心位置保持とは別に、3D の位置を保持して更新できるようになりました。

[専用 /SW インターフェース / 図面更新]



※本機能は旧バージョンで保存されたデータとの互換性はありません。本機能を使用する為には、本バージョン以降で一度、SW インターフェース / 図面更新の実行と図面保存が必要です。

その他のオプション

35. JIS 機械パーツ 部品ライブラリ

Ver.25.0 用の最新部品ライブラリに更新されました。部品点数は約 74 万点です。保守期間中は PC に部品データをインストールせずに、オンラインでもご利用いただけます。